

# IRミーティング

2011年3月期決算概要

科研製薬株式会社

2011年5月16日

「あなたに笑顔」科研製薬の願いです

# 注意事項

- 本説明資料に記載されている業績予想等は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が合理的と判断したものです。
- 新薬が発売されるまでには、多額の資金と長い開発期間が必要となります。有効性と安全性を確認しながら慎重に開発を進めていくうちには、開発中止となる可能性があります。
- 「開発テーマの状況」は、現時点の開発計画に基づいて作成しております。開発計画の進行に伴い、変更等が発生する可能性があります。

# 会社概要

2011年3月31日現在

- 科研製薬株式会社
- 代表取締役社長 乾 四朗
- 創業 1948年3月1日
- 資産合計 98,493百万円(連結)
- 資本金 23,853百万円
- 株主資本合計 60,145百万円(連結)
- 主な事業内容 医薬品、医療機器、農業薬品、飼料添加物の製造・販売  
及び不動産の賃貸  
(医薬品等 90.6% 農業薬品 5.0% 不動産 2.8% その他 1.6%)
- 主な事業所 全国9支店68営業所、静岡研究所、京都研究所、静岡工場  
その他 米国に駐在員事務所
- 従業員数 1,679名(連結)  
内 営業本部 969名、研究開発本部 277名、生産部門 220名
- 株主構成 株主数 13,799名 単元株主数 10,968名  
(個人 28.3% 金融機関 33.5% 国内法人 10.6% 外国人 16.3%)
- 子会社 科研不動産サービス(株)、科研ファルマ(株)、(株)フジカ

# 2011年3月期決算のポイント

- **9期連続の増益を確保**
  - 薬価改定の影響を吸収し、売上げ増
  - アルツ・セプラフィルム・ジェネリック医薬品の伸びが増収寄与
  - クレキサンの販売を開始
  - 売上高・営業利益ともに過去最高を更新
  
- **9期連続の増配および自社株買いを実施**
  - 6円増配し、年間配当36円（配当性向：41.0%）
  - 450万株の自社株買いをし、流通株式数は91,572千株に

# 2011年3月期損益実績(連結)

(百万円未満切捨)	2010年 3月期	2011年 3月期	増減	前年比 (%)
売上高	85,022	86,428	1,406	101.7
営業利益	11,784	14,179	2,394	120.3
経常利益	11,308	13,713	2,404	121.3
税引前当期利益	10,929	13,545	2,616	123.9
当期純利益	6,734	8,213	1,479	122.0

- ・ 6%台後半の薬価引き下げの影響を吸収して増収増益を確保

- ・ アルツ、セプラフィルム、ジェネリック医薬品が伸長し増収に寄与

- ・ 原価率の改善、販管費の減少により増益を確保

- ・ 販管費:28,185百万円  
対前同 935百万円の減少

- ・ 9期連続の増配

# 売上内訳(連結)

(百万円未満切捨)	2010年3月期	2011年3月期	増減	前年比 (%)
医療用医薬品・医療機器	73,681	75,787	2,106	102.7
農業薬品	4,711	4,319	▲392	91.7
不動産賃貸料	2,448	2,440	▲7	99.7
その他	4,181	3,881	▲299	92.8
合計	85,022	86,428	1,406	101.7

# 販管費効率化への取り組み

(百万円未満切捨)	2008年 3月期	2009年 3月期	2010年 3月期	2011年 3月期	前年比 (%)
売上高	79,934	82,930	85,022	86,428	101.7
研究開発費	6,808	7,696	7,873	6,853	87.0
退職給付費用	788	1,032	1,364	1,356	99.4
その他	21,258	20,427	19,883	19,975	100.5
売上高 その他販管費比率	26.6%	24.6%	23.4%	23.1%	
販管費合計	28,855	29,156	29,120	28,185	96.8

# 連結貸借対照表の推移

借方

貸方

(単位:百万円未満切捨)

	2010年 3月期末	2011年 3月期末	増減		2010年 3月期末	2011年 3月期末	増減
流動資産	56,824	56,885	61	流動負債	28,858	31,466	2,607
固定資産	38,272	41,607	3,334	固定負債	6,662	6,651	▲11
資産合計	95,096	98,493	3,396	負債合計	35,521	38,117	2,596
				純資産合計	59,575	60,375	800

## 主な変動科目 (百万円未満切捨)

- ◆資産 現金及び現金同等物 : 17,035百万円 (▲ 469百万円)  
受取手形及び売掛金 : 27,119百万円 (▲ 541百万円)
- ◆負債 有利子負債 : 8,390百万円 (▲ 120百万円)
- ◆純資産 利益剰余金 : 33,806百万円 (+ 5,122百万円)  
自己株式 : 期末保有株式数 10,306千株



# 連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円未満切捨)	2010年 3月期	2011年 3月期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,049	13,142	2,093
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲2,374	▲6,302	▲3,928
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲3,727	▲7,309	▲3,581
現金及び現金同等物の期末残高	17,504	17,035	▲469

※ 営業活動によるキャッシュ・フロー  
税金等調整前当期純利益：13,545百万円

※ 投資活動によるキャッシュ・フロー  
理化学研究所 跡地の取得 等

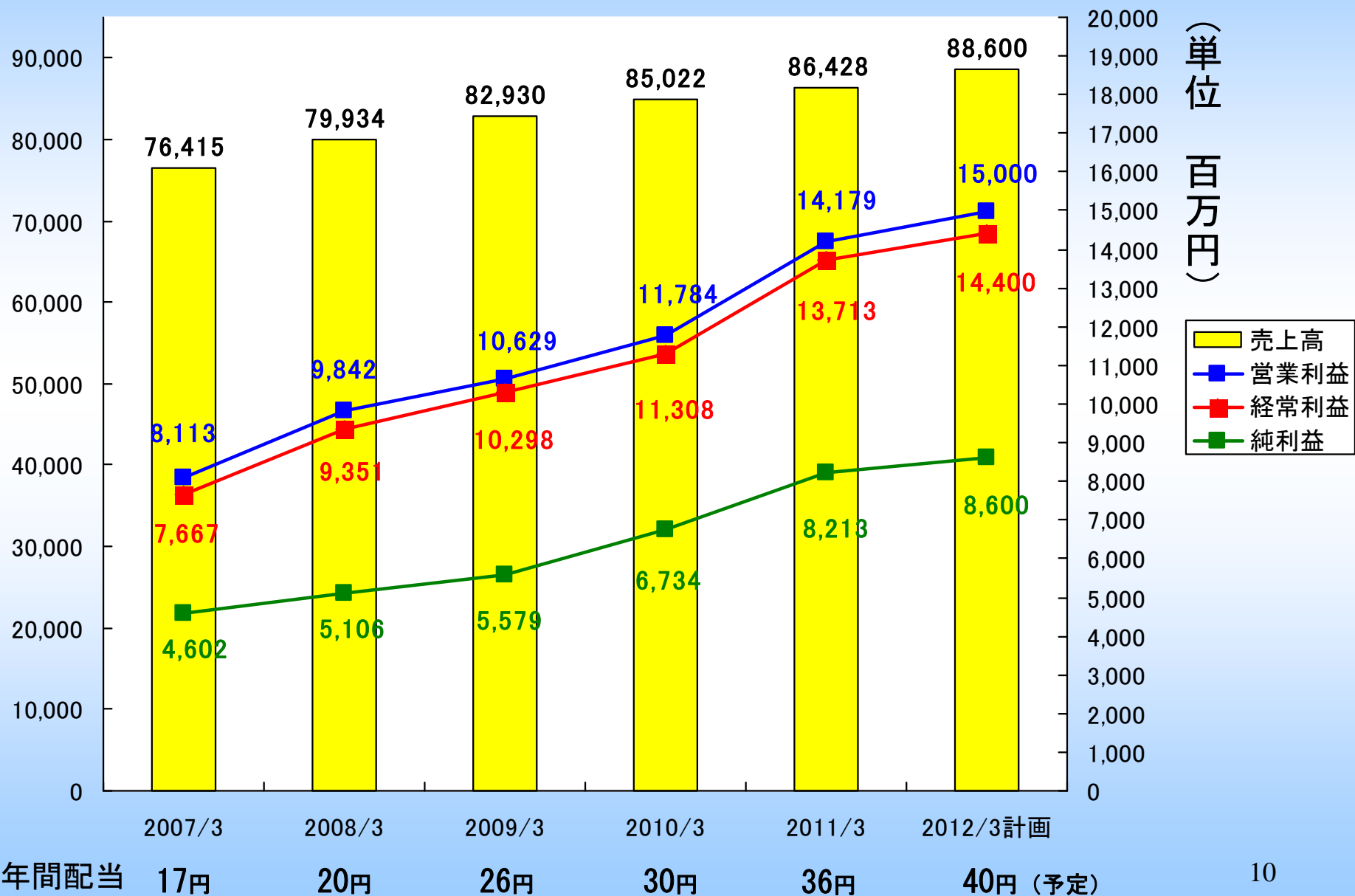
※ 財務活動によるキャッシュ・フロー  
自己株式取得額：4,101百万円  
配当金支払額：3,088百万円

# 医薬品・医療機器の売上実績内訳

(百万円未満切捨)	2010年 3月期	2011年 3月期	前年比 (%)
アルツ	30,235	30,840	102.0
セプラフィルム	8,515	9,580	112.5
アドフィード等	8,734	7,988	91.5
プロサイリン	6,721	5,893	87.7
リピディル	4,229	4,194	99.2
フィブラストスプレー	3,887	3,946	101.5
エブランチル	2,069	2,052	99.2
ジェネリック医薬品計	6,785	7,852	115.7

- ・アルツ  
DTC活動の継続とともに、プラスチックシリンジの追加発売が売上の伸長に寄与  
前年同期比109.2%(数量ベース)
- ・セプラフィルム  
外科での消化器がん、産婦人科での帝王切開および婦人科がんへの使用拡大により伸長
- ・フィブラストスプレー  
形成外科、救命救急での使用拡大により伸長
- ・ジェネリック医薬品  
アムロジピン、各種アレルギー用薬などの既存の製品が順調に伸長

# 業績推移(連結)



# 開発テーマの状況

	開発コード	適応症	開発段階	承認予定 (年)	備考
1	KCB-1D	歯周病	申請準備中	2012	bFGF
2	KP-103 (IDP-108)	爪白癬	PⅢ	2013	外用剤 国際共同治験
3	KCB-1B	骨折	PⅡ終了 次相準備中		bFGF
4	TRK-100STP	腰部脊柱管狭窄症	PⅡ	2016	東レ社と共同開発 ベラプロストナトリウム徐放製剤 適応拡大
※ 5	KP-413	アトピー性皮膚炎	開発中止		

※: 前回ミーティングから変更のあったもの

# 2012年3月期損益計画(連結)

(百万円未満切捨)	2011年 3月期 実績	2012年 3月期 計画	増減	前年比 (%)
売上高	86,428	88,600	2,172	102.5
営業利益	14,179	15,000	821	105.8
経常利益	13,713	14,400	687	105.0
税引前当期利益	13,545	14,300	755	105.6
当期純利益	8,213	8,600	387	104.7

・10期連続の増益を計画

・販管費：288億円

(前年比 6億円増)

研究開発費：73億円

(前年比 4億円増)

・10期連続の増配を予定

4円増配し、年間40円配当

(配当性向：42.6%)

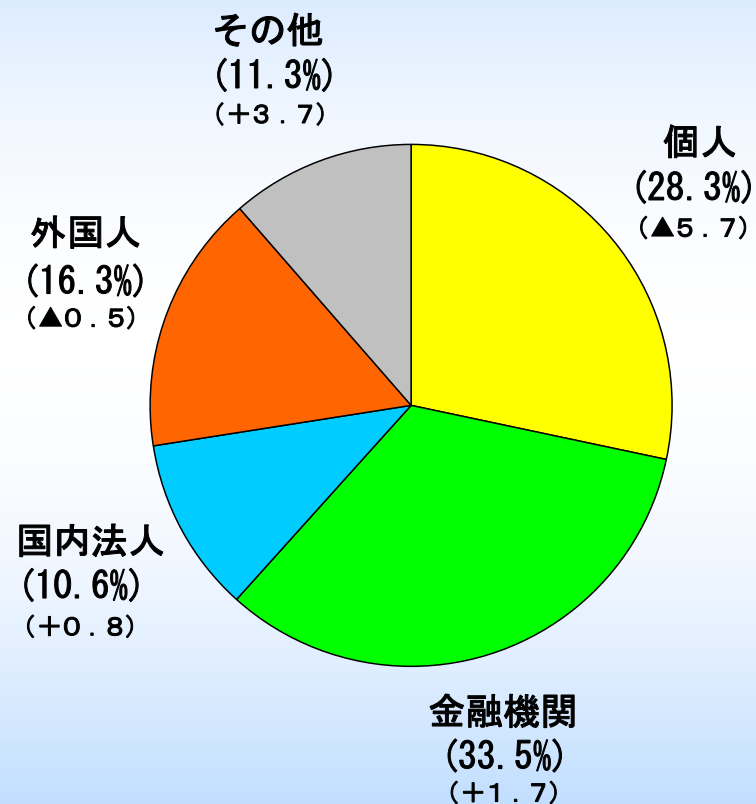
# 医薬品・医療機器の売上計画内訳

(百万円未満切捨)	2011年 3月期 実績	2012年 3月期 計画	前年比 (%)
アルツ	30,840	33,100	107.3
セプラフィルム	9,580	10,500	109.6
アドフィード等	7,988	8,000	100.2
プロサイリン	5,893	6,000	101.8
リピディル	4,194	4,200	100.1
フィブラストスプレー	3,946	4,100	103.9
エブランチル	2,052	2,100	102.3
ジェネリック医薬品計	7,852	9,000	114.6

- アルツ:**  
 疾患啓発活動を継続し、市場の拡大を推し進める
- セプラフィルム:**  
 消化器外科、産婦人科への各種使用方法の提案により、浸透率を上げる
- アドフィード等:**  
 多様なラインナップと優れた使用感を訴求し、市場への浸透を図る
- フィブラストスプレー:**  
 発売10周年を迎え、蓄積されたデータの普及により、更なる浸透を図る
- ジェネリック医薬品:**  
 6月発売予定の新製品と既存品の伸びにより更なる成長を目指す

# 大株主一覽表(2011年3月末)

	会社名または氏名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
1	日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	5,402	5.3%
2	東レ株式会社	4,589	4.5%
3	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	4,397	4.3%
4	株式会社みずほ銀行	4,086	4.0%
5	農林中央金庫	3,686	3.6%
6	メロンバンク エヌイー・アス・エージェント フォー イツ クラ イアント メロン オムニバス ユー・エス ペンション	1,804	1.8%
7	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口9)	1,754	1.7%
8	日本生命保険相互会社	1,700	1.7%
9	科研製薬従業員持株会	1,594	1.6%
10	株式会社損害保険ジャパン	1,343	1.3%



※自己株式数: 10,306千株